

IKUBOSS PRESS

2020.SPRING 【発行:北九州イクボス同盟】

イクボスとは…部下や社会、そして組織を育(イク)てる上司(ボス)の略。職場でも働く部下やスタッフの“仕事と生活の両立(ワーク・ライフ・バランス)”を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら組織の結果も出しつつ、自らの仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)のこと。

●●●イクボス先進企業インタビュー●●●

株式会社スターフライヤー

現場のママ社員チームが主導する風土改革！ タテ・ヨコ・ナナメの対話で相互理解へ

従業員の仕事とライフの両立を支援し、世代間ギャップ解消と相互理解を深める。そんなイクボス活動を現場社員が率先するのが、航空会社「スターフライヤー」だ。全員が子育て中というプロジェクトメンバー4人に詳しく話を伺った。



「D&I推進プロジェクト」のメンバー。フルタイム社員2名と時短勤務2名で1年間の活動を続けてきた。

「D&I※推進プロジェクト」を育児中の女性社員4人で2019年4月に立ち上げました。当初は育児経験を会社に役立てたい、という想いで女性の子育て支援を活動の軸にしたのですが、経営陣から「なぜ女性社員のためだけなのか？」と問われ方向性を再検討。私たちが目指すのは、女性社員の処遇改善だけでなく、すべての社員の個性を活かして多様化する顧客へ「感動のあるエアライン」を届けることだと再定義し、プロジェクトが実現しました。

1年間限定で、現状把握、調査、実行、検証の4ステップを進めました。世の中の動きを把握するため、先進企業訪問や勉強会参加など情報収集からはじめ、調査では社内ヒアリングを実施。育児期、子どもの年齢、勤務形態等、属性別に声を聞きました。

そこで見えてきたのは、社員が多様化する一方で「世代や属性による相互理解不足が起きている」「社員個人が『もっとこうすれば』という思いを発言するきっかけがない」という現状でした。

そこで、社員の不安や考えを発言できる対話の場を作ることにしました。例えば、弊社には「時短勤務は子どもが小学校3年生まで」という制度がありますが、実際に子どもがこれから小学校3年生を迎える社員とその上司とで話し合い、フルタイム勤務への移行に向け、抱えている課題や解決方法を一緒に考える機会をもちました。私たちは対話のパイプ役として介在し、部下が上司に面と向かって言いつらいことを代弁。上司側は制度利用への理解が深まり、部下側の気持ちも楽になったようです。お互い

が腹を割って対話すれば解決できることもあると気づいた一方で、家庭環境等により一律に制度が当てはまらない場合があることも分かりました。今後ますます多様な社員が増える中で生まれる不安や悩みは、社員一人で抱えこまず上司や部署も巻き込んで考えたいし、私たちは不安に寄り添って悩みを解決する伴走者でありたい。対話の場を広めて社内のタテ・ヨコ・ナナメをつなぐ仕組みをつくること、そして「一緒に変えよう」という社員を増やすことがプロジェクトの最後の課題です。

※D&I=ダイバーシティ&インクルージョンの略で「多様性とその受容」という意味

- 所在地:北九州市小倉南区空港北町6番
北九州空港スターフライヤー本社ビル
- 業種:航空運輸業
- 創業:2002年
- 従業員数:789名(うち女性370名)

北九州イクボス同盟に参加しませんか？

働き方改革を進める研修会や専門家派遣など取組を支援しています！ぜひご参加ください。

加盟企業/130社・団体(2020年2月29日現在) 加盟条件/北九州市内に事業所を有し、設立趣旨に賛同する企業・団体

詳細・お申込は

北九州イクボス



セミナーレポート



働き方改革&イクボスマネジメント講座、開催！

北九州市初登壇の徳倉氏からは「イクボスが目指すべきマネジメントとは、今いる人を辞めさせないこと。そこから人材定着と確保の好循環がはじまる」との力強いメッセージに、参加者の熱量も高まりました！

参加者アンケートより

- 何のための働き方改革か、社内で改めて考えたい。
- 組織の価値に直結する働き方改革を進めたい！
- アクションプランを一つでも職場でやってみます。

◎日時:2020年2月20日(木)13:30~17:00

◎講師:徳倉康之氏(NPO法人ファザリング・ジャパン理事・株式会社ファミリーエ代表取締役社長)